

FLP 通信

Future Leaders Program (FLP)によろこそ

FLPに参加される学生諸君に学長ならびに担当教員から一言

2014年度から始まる京都外国語大学フューチャー・リーダーズ・プログラム (FLP)に参加される皆さん、担当教職員一同を代表して衷心より歓迎いたします。皆さんは、このプログラムを通して、外国語能力を高めるばかりでなく、世界の多様性を受容し、グローバル社会に対応できる「異文化理解コミュニケーション力」を身につけることを目指します。皆さんのリーダーシップ育成にお手伝いできることを嬉しく思います。このプログラムを最大限に活用して勉学に励み、意義のある学生生活を送られることを期待しております。

学長 松田 武

FLPのポイントシステムの輪郭

本プログラムに所属する学生は、いろいろな活動に参加することによってポイント累積しながら、リーダーシップの育成を図ります。本学で定めていることとして、1年次終了時点で1ポイント、2年次終了時点で2ポイント、3年次終了時点で4ポイント、4年次終了時点で6ポイントを最低限獲得しなければなりません。例えば、1年次に弁論大会に参加し入賞すると1ポイントで、最低限のポイントが獲得できます。ポイント加算に関して質問がある場合にはお問い合わせ下さい。このプログラムでは、授業だけでなく、課外活動をしっかり行い、留学・海外研修、ボランティア、インターンシップを通じて「自己の確立」「受容と共感」などの属性を鍛えながら人間力を高めていくことを重要視します。

本プログラムのさらに詳しい情報は、本学のホームページをご覧ください。

<http://www.kufs.ac.jp/faculties/kyoyo/leaders/index.html>

まずは短期で「いろいろな活動に参加しよう」

FLPでは、当然のことながら教室の外での活動が大切です。いまの日本の若者に必要なのは、多様な人々の中で生き抜く粘り強さです。例えば、海外の大学の講義を受けるだけが留学ではありません。長期に亘って海外で学ぶ前に、短期研修に目を向けることも必要です。FLPでは欧米の協定大学のサマープログラムに参

加しやすいように、また学生の多様なニーズに対応できるように多彩なメニューを用意しています。大学で用意されたプログラムを活用しながら、グローバル社会に対応できる異文化理解コミュニケーション力を培い、世界の多様性を受容しましょう。

Leadership and Communication (ジェフ・バーグランド先生)

リーダーにはコミュニケーション力が必要です。フューチャー・リーダーズ・プログラムはサーバントリーダーを目指して、「言語を通して世界の平和を」を実現する活動を皆さんに期待します。良き従者は良き指導者になるし、良き聞き手が良きコミュニケーターにもなります。リーダーシップとコミュニケーションについて、皆さんと一緒に勉強していきましょう。



Analysis and Persuasion (アロン・キャンベル先生)

かつて故ジョン・F・ケネディ大統領は「リーダーシップと学習はともになくなくてはならないものである」と言われました。今年、皆さんと一緒に物事を分析するスキルと相手を説得する能力をともに形成する勉強ができることを嬉しく思います。愉しんで一緒に学習して行きましょう。



English Strategies TOEFL I / English Strategies TOEFL II (松本マント先生)

これからの4年間、皆さんが必要とする道具、つまり言語力、コミュニケーション力、思考力を獲得し、上手に使いこなせるように学んでいきます。それらを駆使してみなさんの思うことを自らの力で成し遂げ、世界に羽ばたいていきましょう。



PAX MUNDI PER LINGUAS

「言語を通して世界の平和を」

学校法人 京都外国語大学

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

お問い合わせはこちらまで TEL: 075-322-6033